



# エネルギー問題と原子力

東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故で、  
原子力に対する信頼感が一挙に失われた。

それでは、原子力に頼らず、自然エネルギーだけで需要を満たせるのかと  
考えると、それほど簡単ではないことがわかる。

もともと危ないものである原子力を安全に扱うことが原子力開発の出発点であり、  
原子力は制御可能な技術であると私は考える。

そこで、環境問題をも含めたエネルギー問題の種々の側面と、  
原子力発電に付随する燃料サイクルの諸問題について、説明したい。

★日時：平成23年10月29日（土）午後5時～7時

★対象者：一般（高校生以上）定員 50名

★会場：名古屋市科学館 1F ミュージアムカフェ&レストラン

★参加費：1,000円 \*コーヒーとミニディッシュをお楽しみいただけます。

0ファシリテーター・司会 大野 竜三氏（愛知県がんセンター名誉総長、第20期日本学術会議会員）



講師 名古屋大学 理事・副総長 工学研究科教授  
日本学術会議連携会員

山本 一良（やまもと いちろう）氏

## プロフィール

【役職】 名古屋大学 理事・副総長（教育・情報担当）  
名古屋大学 大学院工学研究科教授（マテリアル理工学専攻）

【専門分野】 原子力学、核融合学、反応・分離工学

## 【略歴】

昭和48年（1973）4月 名古屋大学助手（工学部）  
昭和63年（1988）5月 名古屋大学助教授（工学部）  
平成7年（1995）4月 名古屋大学教授（工学部）  
平成9年（1997）4月 名古屋大学教授（大学院工学研究科）  
平成13年（2001）4月 名古屋大学核燃料管理施設長  
平成14年（2002）4月 名古屋大学総長補佐（教養教育担当）  
平成16年（2004）4月 名古屋大学エコトピア科学研究機構  
情報メディアセンター長  
平成17年（2005）4月 名古屋大学情報メディアセンター長  
平成18年（2006）4月 名古屋大学総長補佐（教育担当）  
8月 日本学術会議連携会員  
平成21年（2009）4月 名古屋大学副総長（教育・情報担当）  
平成22年（2010）4月 名古屋大学理事・副総長（教育・情報担当）

## 申込み方法

1) 往復はがき 催し名・参加希望日・参加者全員の「住所・氏名・電話番号・学年（年齢）  
・テーマについての質問」を記入して科学館の「サイエンスカフェ」係へ

2) インターネット 名古屋市電子申請サービス

\*「利用手続き」や「よくある質問」をお読みの上、お申込みをお願いします。

★「キーワードでさがす」で「名古屋市科学館」と入力

パソコン用アドレス：<https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/>

携帯電話用アドレス：<https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/m/>



締め切り 平成23年10月15日（土）必着（応募者多数の場合は抽選）

\*締め切り後数日してから当選・落選のお知らせをお送りします。

●申込み・問い合わせ 〒460-0008 名古屋市中区栄2-17-1  
名古屋市科学館「サイエンスカフェ」係  
TEL：052-201-4486 FAX：052-203-0788

取得した個人情報は本事業の運営目的以外には使用しません。



サイエンスカフェとは、従来の講演会やシンポジウムとは異なり、科学者と市民がコーヒーを  
片手に科学について気楽に語り合う、新しいコミュニケーションをする場です。

もともとはヨーロッパで始まったこの試みは急速に世界中に広まり、日本においても各地で  
サイエンスカフェが開催されており、市民が科学に興味を持ち、科学力を増進するのに  
役立っています。

科学知識の普及と生涯学習の場として、半世紀近くにわたり多くの市民に親しまれ  
リニューアルしたばかりの名古屋市科学館での初のサイエンスカフェです。みなさまの  
科学への関心が広がっていくことを期待しています。

日本学術会議 科学と社会委員会  
科学力増進分科会委員長 毛利 衛

「芸術と科学の杜」市民の豊かな感性・創造力を育むため、白川公園一帯を「芸術と科学の杜」として位置づけ、美術館・科学館が  
連携した事業を展開しようとするものです。この11月の科学館屋外展示完成により園路が開通するのを機に、10月下旬から11月に  
かけて「芸術と科学の杜」開所記念月間として、本事業を始め両館で各種のイベントを開催します。

「芸術と科学の杜」<sup>もの</sup>開所記念行事

